

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2016-120343(P2016-120343A)
 【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報2016-040
 【出願番号】特願2016-73783(P2016-73783)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月5日(2017.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体が流下する遊技領域が形成されると共に、遊技媒体の流下方向をランダムに変更可能な障害釘が複数打ち付けられた遊技盤と、

前記遊技盤から突出して前記遊技領域を包囲する包囲壁と、

前記遊技領域に配置され、前記遊技領域を流下する遊技媒体が常時入賞可能であって、遊技媒体が入賞したときに遊技者に特典を付与可能な複数の入賞口と、

前記遊技領域の下端部に配置され、前記遊技領域を流下してきた遊技媒体を受け入れて前記特典の付与なく前記遊技領域外に排出する排出口と、を備えた遊技機において、

前記複数の入賞口には、前記排出口の斜め上方に配置された第 1 入賞口が含まれ、

前記第 1 入賞口は上方に開放され、

前記第 1 入賞口に対して、前記排出口側からの遊技媒体の進入を許容する一方で、その他の方向からの遊技媒体の進入を規制する進入規制手段を備え、

前記遊技領域のうち前記第 1 入賞口と前記排出口とに挟まれた部分に、装飾部を設けたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

第 1 の手段は、遊技媒体が流下する遊技領域が形成されると共に、遊技媒体の流下方向をランダムに変更可能な障害釘が複数打ち付けられた遊技盤と、前記遊技盤から突出して前記遊技領域を包囲する包囲壁と、前記遊技領域に配置され、前記遊技領域を流下する遊技媒体が常時入賞可能であって、遊技媒体が入賞したときに遊技者に特典を付与可能な複数の入賞口と、前記遊技領域の下端部に配置され、前記遊技領域を流下してきた遊技媒体を受け入れて前記特典の付与なく前記遊技領域外に排出する排出口と、を備えた遊技機において、前記複数の入賞口には、前記排出口の斜め上方に配置された第 1 入賞口が含まれ、前記第 1 入賞口は上方に開放され、前記第 1 入賞口に対して、前記排出口側からの遊技媒体の進入を許容する一方で、その他の方向からの遊技媒体の進入を規制する進入規制

手段を備え、前記遊技領域のうち前記第 1 入賞口と前記排出口とに挟まれた部分に、装飾部を設けたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

[請求項 1 の発明]

請求項 1 の発明によれば、第 1 入賞口と排出口とに挟まれた部分に、装飾部で形成したので、遊技領域内の装飾性の向上を図ることが可能となる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】
 【手続補正 1 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 1 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 1 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 1 5】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 9
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 1 6】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 0
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 1 7】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 1
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 1 8】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 6 2】

(7) 上記実施形態では、下側道釘 4 0 に形成された落下口 4 0 A から落下した遊技球を案内流路 5 1 によって特典無し流下部 R 2 へ案内される構成であったが、特典無し流下部 5 1 へと案内されない構成としてもよい。このような構成は、例えば、図 1 1 に示すように、落下口 4 0 A から落下し且つ湾曲ガイド部 1 2 G によってアウト口 1 6 側へと案内される遊技球を堰き止める区画壁 5 3 を右側一般入賞口 2 0 A の下方に形成すると共に中間一般入賞口 2 0 B の下方にアウト口 1 6 とは別のサイドアウト口 1 6 S を設けることで達成可能である。

上記実施形態及び上述した他の実施形態(1)～(7)には、以下の[1]～[8]の構成が含まれている。

[1]

遊技媒体が流下する遊技領域が形成されると共に、遊技媒体の流下方向をランダムに変更可能な障害釘が複数打ち付けられた遊技盤と、

前記遊技盤から突出して前記遊技領域を包囲する包囲壁と、

前記遊技領域に配置され、前記遊技領域を流下する遊技媒体が常時入賞可能であって、遊技媒体が入賞したときに遊技者に特典を付与可能な複数の入賞口と、

前記遊技領域の下端部に配置され、前記遊技領域を流下してきた遊技媒体を受け入れて前記特典の付与なく前記遊技領域外に排出する排出口と、を備えた遊技機において、

前記複数の入賞口には、前記排出口の斜め上方に配置された第１入賞口が設けられると共に、

前記遊技領域のうち前記第１入賞口に対して前記排出口と反対側から前記第１入賞口の上方位置まで下るように傾斜し、前記遊技領域を流下する遊技媒体を受け止めて前記第１入賞口側へと誘導可能な傾斜誘導部を備えて、前記傾斜誘導部に誘導された遊技媒体を前記第１入賞口へ入賞可能に構成し、

前記遊技領域のうち前記傾斜誘導部の延長線より下方で且つ横方向で前記第１入賞口と前記排出口とに挟まれた部分に、前記入賞口及び前記障害釘を有さない特典無し流下部を設けて、その特典無し流下部を装飾部で形成したことを特徴とする遊技機。

[１]の構成では、傾斜誘導部の延長線より下方であって、横方向で第１入賞口と排出口とに挟まれた部分に、入賞口及び障害釘を有さない特典無し流下部を設けて、その特典無し流下部を装飾部で形成したので、遊技領域の全体に亘って障害釘が配設された遊技機と比較して、遊技領域内の装飾性の向上を図ることが可能となる。

[２]

前記第１入賞口は、上方に開放すると共に、前記傾斜誘導部との間に遊技媒体が進入可能な第１上方隙間を有し、

前記傾斜誘導部の下方には、前記排出口と反対側から前記第１上方隙間へ遊技媒体が進入することを規制する第１進入規制部が設けられたことを特徴とする[１]に記載の遊技機。

[２]の構成では、第１入賞口が上方に開放すると共に、傾斜誘導部との間に遊技媒体が進入可能な第１上方隙間を有する構成となっている。そして、傾斜誘導部の下方には、排出口と反対側から第１上方隙間へ遊技媒体が進入することを規制する第１進入規制部が設けられているので、第１上方隙間へは排出口側からのみ進入可能となっている。ここで、仮に、第１上方隙間へ排出口と反対側から進入可能とした場合には、誘導傾斜部に誘導される遊技媒体を誘導傾斜部より下方へ落下させる落下流路を、第１上方隙間よりも排出口から離れた側に備えた構成とする必要が生じる。このような構成では、落下流路の横幅分だけ第１入賞口を排出口側へ配置することとなり、特典無し流下部が狭められるという問題が生じる。これに対し、本発明では、特典無し流下部の一部を落下流路として、特典無し流下部を広くとることが可能となる。これにより、装飾部を大きくすることが可能となり、遊技領域内の装飾性の向上を図ることが可能となる。また、本発明の構成によれば、以下に説明する不正行為が行われた場合に、その不正行為による第１入賞口への入賞を抑制することが可能となる。即ち、排出口を塞ぐ等して排出口側から遊技媒体を積み上げ、その積み上げた遊技媒体を足場にして第１入賞口への入賞を図ろうとする不正行為が行われた場合、本発明の構成によれば、第１上方隙間に対して排出口側に位置する特典無し流下部には障害釘が備えられていないので、第１入賞口の側方に遊技媒体が積み上がり難くなり、不正行為による第１入賞口への入賞を抑制することが可能となる。

[３]

前記複数の入賞口には、前記傾斜誘導部の下方で且つ前記第１入賞口よりも前記排出口から離れた側に配置され、上方に開放すると共に前記傾斜誘導部との間に遊技媒体が進入可能な第２上方隙間を有する第２入賞口が設けられ、

前記傾斜誘導部のうち前記第２入賞口よりも前記排出口から離れた部分には、遊技媒体を落下させることが可能な落下口が設けられ、

前記傾斜誘導部の下方には、前記第１入賞口側から第２上方隙間へ遊技媒体が進入することを規制する第２進入規制部と、前記落下口から落下してきた遊技媒体と衝突して遊技媒体を前記第２上方隙間側へ誘導する誘導部材と、が設けられたことを特徴とする[２]に記載の遊技機。

[3] の構成によれば、傾斜誘導部に誘導される遊技媒体は、第 1 入賞口だけでなく第 2 入賞口にも入賞可能となるので、遊技の趣向性を向上させることが可能となる。また、本発明では、第 2 入賞口は、上方に開放すると共に傾斜誘導部との間に遊技媒体が進入可能な第 2 上方隙間を有する構成となっていて、この第 2 上方隙間へは、排出口と反対側からのみ遊技媒体が進入可能となっている。これにより、排出口を塞ぐ等して排出口側から積み上げ、その積み上げた遊技媒体を足場にして第 2 入賞口への入賞を図ろうとする不正行為が行われた場合に、第 2 上方隙間へ進入可能に遊技媒体が積み上げられるまでの時間をかせいで、不正行為による第 2 入賞口への入賞を抑制することが可能となる。

[4]

前記装飾部の少なくとも一部を装飾プレートで構成し、前記装飾プレートを前記第 1 入賞口及び前記第 2 入賞口と前記包囲壁の下端部との間に張り出させたことを特徴とする [3] に記載の遊技機。

[4] の構成によれば、装飾プレートを下方隙間まで張り出させたので、遊技領域内で装飾プレートが敷設される部分を広くすることが可能となる。これにより、遊技領域内の装飾性の更なる向上を図ることが可能となる。

[5]

前記遊技領域のうち前記第 1 入賞口及び前記第 2 入賞口と前記包囲壁の下端部との間には、前記落下口から落下し且つ前記第 2 入賞口へ入賞しなかった遊技媒体を前記包囲壁に沿って前記特典無し流下部まで案内する案内流路が形成され、

前記装飾プレートを前記案内流路内に張り出させたことを特徴とする [4] に記載の遊技機。

[5] の構成によれば、傾斜誘導部の落下口から落下してきた遊技媒体を排出口へと案内する案内流路に装飾を施すことが可能となり、遊技領域内の装飾性の向上を図ることが可能となる。

[6]

前記複数の入賞口に、前記排出口の真上に配置された第 3 入賞口を設けると共に、

前記傾斜誘導部の上方から前記傾斜誘導部に沿って前記特典無し流下部の上方まで延び、前記遊技領域を流下する遊技媒体を受け止めて前記第 3 入賞口側へと誘導可能な上側傾斜誘導部を備え、

前記遊技領域のうち前記傾斜誘導部の延長線と前記上側傾斜誘導部とに挟まれた部分を、前記装飾部で構成したことを特徴とする請求項 [1] 乃至 [5] のうち何れか 1 に記載の遊技機。

[6] の構成によれば、障害釘を設ける必要がない誘導傾斜部の延長線と上側誘導傾斜部とに挟まれた部分まで装飾部を張り出させて、装飾部の面積を広くすることが可能となる。これにより、遊技領域内の装飾性の更なる向上を図ることが可能となる。

[7]

前記上側傾斜誘導部には、前記傾斜誘導部に沿って直線状に延びた直線傾斜部と、前記直線傾斜部の下方に配置されて、前記傾斜誘導部に誘導された遊技媒体と衝突して前遊技媒体を前記排出口と反対側へ跳ね返す跳ね返し部と、が備えられたことを特徴とする [6] に記載の遊技機。

[7] の構成によれば、誘導傾斜部により誘導される遊技媒体を跳ね返し部で排出口と反対側に跳ね返して第 1 入賞口へ遊技媒体を入賞させ易くすることが可能となる。

[8]

前記装飾部の少なくとも一部を装飾プレートで構成し、前記第 1 入賞口は、前記装飾プレートに一体形成されていることを特徴とする [1] 乃至 [7] のうち何れか 1 に記載の遊技機。

[8] の構成によれば、遊技盤の前面に装飾プレートを敷設するだけで、第 1 入賞口を遊技領域内に備えることが可能となる。